

金倉 洋一（かなくら よういち）先生のプロフィール

昭和49年慶應義塾大学医学部卒業、医師免許取得
慶應義塾大学病院、平塚市民病院、清水市立病院、
済生会宇都宮病院、警友総合病院に勤務

平成2年 藤田保健衛生大学産婦人科講師
平成7年 藤田保健衛生大学産婦人科助教授
平成14年 かなくらレディースクリニックを開業

専門科目：産婦人科

日本産婦人科学会専門医、漢方専門医
日本東洋医学会指導医、認定産業医
母体保護法指定医 でもある。



◆先生が初めて漢方と出会われたのはいつ頃ですか

研修医として関連病院に勤務していた昭和50年頃、更年期障害の治療に困っていた時に、漢方薬メーカーのプロパーから漢方の話を聞いたのが漢方との最初の出会いです。

丁度、漢方薬が薬価収載された頃です。その後積極的に勉強し始めたのは、漢方の研修旅行で中国へ行った際に、松田邦夫先生と出会い、教えられることができるようになってからです。

◆先生の御専門で漢方はどのような効果を発揮していますか

治療の選択肢が増え、患者に適した医療を選べる。具体的には、不妊症、更年期障害、妊娠に関する諸疾患等、広範囲に活用しています。

◆普段の治療で漢方薬と西洋薬との割合はどれくらいですか

50%－50%

◆10年後の漢方医療はどうなっている(またはどうあってほしい)とお考えですか

常に第一選択薬として飲んでいきます。



◆先生ご自身漢方を飲んで効果を実感なされたことがありますか

漢方は経験医学なので、まず使ってもらいたい。そして良い師を見つけることでしょ

◆これから漢方医を志す方に一言お願いします

過信は良くないが、試して欲しい。

◆漢方に関心のある一般の方に一言お願いします

関心を持って色々勉強されるのはよいことですが、勝手に薬を用いるような
医者まねごとはしないようにして下さい。

漢方の考えや理論を勉強して日常の食生活や養生に生かすように心がけて下さい。

◆座右の銘、好きな言葉などありましたら教えてください

息慮凝心

注意：先生へのインタビューは、当会が2005年11月に行った内容です。

